

2017. 1. 23 第2369回例会

感謝の心で 奉仕と親睦を

東京城東ロータリークラブ会長 細谷 貞治

例会日 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場 〒130-0013 墨田区錦糸1-2-2 TEL 5611-5511
 東武ホテルレバント東京
 事務局 〒130-0013 墨田区錦糸1-1-5
 TEL 5637-4605 FAX 5637-4611
 事務局 天尾 文(伊藤)
 E-mail jyoto@club.email.ne.jp

会 長 細谷 貞治 副会長 阿 部 豊
 幹 事 兒 玉 正 行 副幹事 江波戸 健 治
 会報委員長 池 永 憲 明

RI 会長
 ジョン F. ジャーム
 第2580地区ガバナー
 上山 昭 治
 第2580地区幹事
 田 中 永 二

ガバナー補佐：鈴木秀史
 (東分区担当)
 東分区幹事：瀧澤一郎
 東分区副幹事：鈴木正名



本日の卓話

「隅田川の汚染と浄化の歴史」

開発コンサルタント
 柳内 龍二 氏



2017/1/12 (木)

「新年初例会」

2017年1月12日 例会報告

点 鐘
 ロータリーソング 『君が代・奉仕の理想』
 ゲストスピーカー 0名
 ゲスト及びビジター 1名
 会員出席状況 49名中46名(出席率93.88%)
 前々回訂正出席率 100%

- 1月の受付当番 -

池永君/伊藤(裕)君/今井君/宇都宮君/江波戸君



次回の卓話

「事例(ケース)に学ぶ職業奉仕」

第2580地区職業奉仕委員長
 中川 雅雄 氏

2016-17年度 東京城東ロータリークラブ 第7回理事役員会

2017年1月12日(木) 東武ホテルレバント東京

理 事 細谷貞治(会長)○
阿部 豊(副会長・クラブ奉仕)○
山崎富士夫(職業奉仕)×
奈良康司(社会奉仕)○
齊藤榮一(国際奉仕)○
鈴木竹敏(青少年奉仕)○
中村浩紹(クラブ資料)○
会田 博(直前会長)○
若井一郎(親睦活動)○

役 員 兒玉正行(幹事)○
江波戸健治(副幹事)×
今井邦彦(会計)○
篠田泰彦(S A A)○

出席要請 宇都宮英雄(青少年交換)○

《議題》

1. 下半期を迎えて
細谷会長より挨拶
2. 月次会計報告
⇒ 上半期会計監査後、次回報告
3. 下半期会費請求について
⇒ 承認 請求書を全会員に郵送
4. 新年初例会 1/12 (月)
17:30 集 合
17:40～ 集合写真撮影
18:00～ 夜間例会・獅子舞
5. 第2580地区年次大会
2/1 (水)、2 (木) 登録18名
6. 委員会報告
 - ①親睦活動委員会
 - ・親睦家族会報告 (2016/12/9(金))
アンダーズ東京 合計96名参加
 - ・親睦旅行
6/3 (土)～4 (日) に日程変更
 - ②青少年交換委員会
 - ・青少年交換ミゲル君
1/14 (土) より第2ホストファミリー
東京四谷RC会員 辻様
2月下旬までの予定

(右上に続く)

③職業奉仕委員会

- ・第3回クラブフォーラム【職業奉仕担当】
2017/1/30 (月)
「会員企業の活動から見る職業奉仕」

・サッポロビール見学

2017/1/26 (木) 14:00集合
会員18名、奥様3名 合計21名

④国際奉仕委員会

- ・第4回クラブフォーラム【国際奉仕担当】
2017/2/27 (月) 13:30～

6. その他

- ①新会員村上慎吾氏所属委員会
⇒ 親睦活動委員
- ②小野清四郎会員退会届
⇒ 承認 (体調不良につき)

7. 次回開催

2月6日 (月) 11:30～

村上 慎吾 会員 入会式



小野 清四郎 会員 退会ご挨拶



小野先生、長い間お世話になりました。
ありがとうございました。

国際ロータリーのライズリー次期会長が次年度のテーマを発表

16日(月)、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアン H.S. ライズリー氏(オーストラリア、サンドリンガム・ロータリークラブ所属)が講演し、持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると訴えました。

次期地区ガバナーに向けて講演したライズリー氏は、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」を発表しました。



ロータリー：
変化をもたらす

環境の悪化と世界的な気候変動は全人類への脅威であると、ライズリー氏は述べます。「影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があるのです。それにもかかわらず、環境問題がロータリーで議題に上がることはほとんどありません」

環境悪化は、国連の「脅威、挑戦および変革に関するハイレベル・パネル」によっても主な脅威のひとつとされています。

ライズリー会長エレクトは次のように続けます。「環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。今や、環境問題はあらゆる人にとって懸念すべきことです」

会長エレクトはさらに、7月1日の新年度開始から2018年4月22日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。木を植えることで、空気中から二酸化炭素やその他の温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があります。

「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。しかし、それよりもっと大きな影響があると願っています。それは、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」

ロータリーの未来を守る

ライズリー会長エレクトはさらに、2017-18年度地区ガバナーに向け、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。

ロータリーにおける女性会員の割合は、10年前の13パーセントよりは増えたものの、現在も全体の22パーセントにすぎません。このペースだとロータリーが男女均等を実現するまでにあと30年かかると、ライズリー氏は述べます。

「私たちの住む世界を反映したロータリーを実現するために、30年も待ってられません。今、これに優先して取りかかる必要があります」

539名の次期ガバナーのうち103名が女性であることに触れた上で、会長エレクトは「地域社会のすべての人となつながら、すべての人を代表し、支援するためにリーダーシップを発揮できる」女性をロータリーが必要としていると述べました。

さらに、現会員のうち40歳未満はわずか5%であり、会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。

「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」

会長エレクトはさらに、クラブが独自の決定に基づいて活動できると述べた上で、ロータリーの発展と将来を守っていくには、世界的なチームワークが必要であると力説しました。

「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています。(中略) このチームワークと協力の精神を忘れずに、地区に戻って実践してください」

(記事 Ryan Hyland)



国際協議会で講演する
イアン H.S. ライズリー 会長エレクト